

令和元年度事業結果

事業結果

事業名	開催日	会場	内容
幹事会	令和元年 7月2日 (第1回)	ホテル ブリランテ 武蔵野 フリースタ 参加者：21名	1 平成30年度事業結果及び決算について 2 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について 3 令和2年度関東地区公共図書館関係諸会議等の開催計画(案)について 4 その他
	令和2年 2月28日 (第2回)	東京都立 中央図書館 第2研修室 参加者：9名	1 令和2・3年度の役員の改選について 2 令和2年度事業計画(案)について 3 令和2年度都県立図書館館長会議の開催計画(案)について 4 令和3年度関東地区公共図書館関係諸会議等の開催計画(案)について 5 その他
総会	令和元年 7月2日	ホテル ブリランテ 武蔵野 エメラルド 参加者：95名	1 平成30年度事業結果及び決算について 2 令和元年度事業計画(案)及び予算(案)について 3 令和2年度関東地区公共図書館関係諸会議等の開催計画(案)について 4 その他
研究発表 大会	令和元年 7月2日 ～3日	ホテル ブリランテ 武蔵野 エメラルド 参加者：183名	大会テーマ「人生100年時代の図書館サービス」 [1日目] (1) 基調講演 「地域をつなげる、まちの新たな居場所としての図書館の可能性」 (公財)ダイヤ高齢社会研究財団主任研究員 澤岡詩野 氏 (2) 事例発表① 「「よみ愛・読書のまち」宣言を掲げる三芳町の活動 ～児童サービスからの広がり～」 三芳町立図書 館長 代田知子 氏 (3) 事例発表②「ライフステージと図書館サービス」 さいたま市立東浦和図書館 主任 富田淳 氏 [2日目] (4) 事例発表③「学校と連携した図書館サービス」 日高市立図書館 主任 渡邊里子 氏 (5) 事例発表④ 「USJのアイデア発想法を参考にした企画・イベント展開」 杉戸町立図書 館長 小暮雅頭 氏 (6) 事例発表⑤ 「官民の垣根をこえてひろがる、つるがしまどこでもまちライブラリー」 鶴ヶ島市教育委員会生涯学習スポーツ課 主査 砂生絵里奈 氏 ※視察見学 With You さいたま 埼玉県男女共同参画推進センター情報ライブラリー

<p>都県立 図書館 館長会議</p>	<p>令和元年 9月27日</p>	<p>神奈川県立 川崎図書館 カンファレンス ルーム 参加者：28名</p>	<p>協議テーマ「電子ジャーナルの現状と課題」</p> <p>(1) 講演「電子ジャーナルを取り巻くあれこれ： 大学図書館における現状と課題」 慶應義塾大学三田メディアセンター 課長 保坂睦 氏</p> <p>(2) 報告「神奈川県立川崎図書館の取組みについて」 神奈川県立川崎図書館 事業部長 矢島薫 氏</p> <p>聴取事項</p> <p>(1) 各都道府県で特色あるサービスの取組みについて (2) 多文化・多言語サービスの実態について (3) 資料寄贈について (4) AI-OCR（光学的文字認識）の導入・活用について (5) JAPANSEARCH について (6) 基礎自治体図書館等への研修実施について (7) 公衆無線 LAN の利用者への提供について (8) 不用決定資料・除籍資料の再活用方法及び手続きについて (9) 業務委託の導入状況・内容等及び雇用形態別の職員数について (10) 絵図や浮世絵等デジタル化した資料の掲載許可について (11) 図書館評価の指標について (12) DAISY 図書のデータ管理及び提供方法について (13) 会計年度任用職員制度創設への対応方法等について (14) 職員の勤務体制について (15) 複写料金の収入方法について (16) 障がい者サービスについて (17) 司書採用について</p>
<p>関東・甲信 越静地区 図書館 地区別研修</p>	<p>令和元年 11月26日 ～29日</p>	<p>群馬県立図書館 ホール・研修室 ベシア文化 ホール 会議室 参加者：83名</p>	<p>[1日目] 基調講演「情報に踊らされないための《四つの疑問》」 白鷗大学特任教授 下村健一 氏</p> <p>[2日目] 事例発表① 「高崎市立図書館における学校連携：学校連携をゼロからはじめる」 高崎市立中央図書館職員、認定司書第 1046 号 杉原浩子 氏</p> <p>事例発表② 「地域資料を生み出す環境づくりと群馬県立図書館の取組み」 群馬県立図書館職員 市村晃一郎 氏</p> <p>講義① 「図書館空間の演出：高知・長崎・京都女子大学等、北欧の事例から」 建築家、株式会社佐藤総合計画 鳴海雅人 氏</p> <p>施設見学（A 高崎市立中央図書館 B 太田市美術館・図書館）</p> <p>[3日目] 講義②「ウィキペディアと図書館」 元ウィキペディア日本語版管理人 日下九八 氏</p> <p>ワークショップ①② 「ウィキペディアタウンを活用した地域情報の編集と発信」 田原市中央図書館、認定司書第 1104 号 是住久美子 氏</p> <p>[4日目] 講義③「次世代を担う若者とともにある図書館」 ヤオキン商事株式会社、認定司書第 1104 号 吉田倫子 氏</p> <p>講義④「医療健康・福祉情報と高齢者： “認知症の人にやさしい小さな本棚”の事例を通して」 川崎市立宮前図書館職員 舟田彰 氏</p>

<p style="text-align: center;">運営 研究会</p> <p>日本図書館協会 公共図書館部会 主催 全国公共図書館 研究集会 サービス部門 総合・経営部門 と合同開催</p>	<p>令和元年 12月12日 ～13日</p>	<p>千葉市生涯学習 センター ホール 参加者：145名</p>	<p>研究主題「レファレンスサービスを活性化するために」</p> <p>[1日目] 基調講演「レファレンスサービスの活性化と将来像 —現状と課題の論点整理から活性化の方策まで—」 慶應義塾大学名誉教授 田村俊作 氏</p> <p>事例発表①「映像資料による地域の魅力再発見 ～きっかけは小さなレファレンス依頼から～」 岡山県立図書館 総括主任（逐次刊行物班長） 佐藤賢二 氏</p> <p>事例発表②「調布市立図書館のレファレンスサービス」 調布市立図書館 地域サービス係主任（深大寺分館） 川名亜弥 氏</p> <p>事例発表③「恩納村文化情報センターのレファレンスサービス—郷土資料・地域情報の活用と情報発信（レファレンス協同データベース、ウィキペディアタウン）—」 恩納村文化情報センター 係長 呉屋美奈子 氏</p> <p>[2日目] 情勢報告 公益社団法人 日本図書館協会</p> <p>全体会（パネルディスカッション） 「レファレンスサービスを活性化するためには」 コーディネーター 慶應義塾大学 田村俊作 氏 パネリスト 岡山県立図書館 佐藤賢二 氏 調布市立図書館 川名亜弥 氏 恩納村文化情報センター 呉屋美奈子 氏</p> <p>施設見学（千葉市中央図書館）</p>
--	---------------------------------	--	---

